

基本目標(案)

高砂市文化振興条例の基本理念に基づき、文化の振興によるまちづくりを推進するには、まず、わがまち高砂への愛情やきずなを深め、住んでいることに誇りを持つことが大切です。高砂には謡曲「高砂」という全国的なブランドがあり、これを高砂のシンボルとして全国発信していくことで、さまざまな文化への波及効果が生まれ、まち全体の活性化につながることを期待できます。

基本方針ではこの謡曲「高砂」を重要なアイデンティティ(独自性)として、「文化を育てる環境づくり」「ふるさとを愛するひとづくり」「未来へつながる魅力づくり」を基本目標として定め、文化振興への取り組みを進めます。

基本目標1 文化を育てる環境づくり

市内には特性あふれる文化が存在し、それが現在の高砂市の生活基盤を成しています。先人、先輩から受け継いだ文化遺産の保存、継承に努めるとともに、さらなる活用を積極的に推進します。

また、文化活動がより活発に展開していけるよう、新たな場づくりへの取り組みや、文化に関する情報の収集や発信、提供に努めます。

基本目標2 ふるさとを愛するひとづくり

文化の永続的な継承や向上、発展のためには、文化を創造し、支える人材の育成、充実を図る必要があります。また、優れた文化を創造する人材や、専門的な技能を持つ人材を活用し、次世代へ継承する機会を設けるなど、幅広い人材を活用するしくみを整えます。

学校や地域においては、子どもたちが多彩な優れた芸術や地域の伝統文化に触れることにより、豊かな感性や創造性を育む機会を充実させ、ふるさとを愛する心を育てます。

基本目標3 未来へつながる魅力づくり

伝統文化から現代文化まで、全国の人々の興味、関心を引き付ける“高砂の魅力”を積極的かつ効果的に発信するとともに、国内外のさまざまな分野における交流を推進することにより、文化水準や市のイメージを高めます。

また、高砂の特性あふれる文化を活用し、産業振興や地域の活性化を図ります。